

蕨市長 頼高英雄 様

蕨市教育長 松本隆男 様

新型コロナウイルス感染症の拡大防止などに関する要望書

2020年3月6日

日本共産党蕨市議会議員団

鈴木 智 山脇紀子
宮下奈美 武下 涼

日頃より、市民の暮らしを大切にされた市政運営と教育環境の充実にご尽力いただきありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応については、難しい状況下での判断と迅速な対応に心から敬意を表します。

今、新型コロナウイルス感染症の拡大に多くの市民が不安を感じています。また、安倍首相による全国一律「休校」の要請は、科学的な根拠を欠くものであり、不安と混乱を広げています。日本共産党市議団は、こうした状況と市民から寄せられた要望を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策に関して、以下のとおり要望いたします。

記

- 1、市内の感染拡大の防止に全力をあげてください。特に、保育園や留守家庭児童指導室、市役所や他の公共施設での対応については万全を期してください。
- 2、職員及び教職員(臨時職員含む)に対しても、感染防止に必要な対策をとってください。また、「休校」への対応や体調不良などで休みを希望する職員には最大限の配慮を行ってください。保育園や留守家庭児童保育室など、人手不足が懸念される部署へは特別の配慮を行ってください。施設の突然の閉鎖や利用制限などにより、職員や関係者に失職・減収などの影響がないよう配慮してください。
- 3、国、および埼玉県に、検査機関及び相談窓口の充実、いっそうの情報提供を要請してください。また、蕨市としても、市民から相談を受ける体制づくり、市民への情報提供を一層強化してください。特に、インターネットで情報を得ることのできない

市民向けの情報提供についても検討してください。

4、新型コロナウイルス感染症の拡大は、国内の経済活動にも重大な影響を及ぼしつつあります。国・県に対し、労働者への休業補償、フリーランスへの収入補償など、具体的な対策を求めてください。また、「海外からの部品や商品の納入が遅れている」「感染を懸念して利用客が減っている」など、影響は、市内の製造業や飲食店などにも広がりつつあります。市内事業者の状況把握、県・国などの支援策の情報提供を引き続きおこなうとともに、蕨市としての独自支援についても検討してください。

5、地域や学校で、新型コロナウイルス感染症にかかわる事実に基づかない情報や差別的な言動の拡散、いじめなどの人権侵害が発生しないよう、対応をお願いします。

6、小中学校の「休校」及びその対応について、突然・緊急の対応ということもあり、不安が広がっています。市民から寄せられた不安や要望の一部を紹介します。感染防止策の徹底を前提にしながらも、対応については柔軟にご検討ください。

(1)当面、小学校で児童を受け入れてもらえるのは助かるが、送迎は負担が大きい。簡略化できないか。

(2)長期間の休みで子どもたちの生活の乱れや学習の遅れが心配。登校日を増やすか、それに代わる対応をお願いできないか。また、学校からの連絡や情報提供があると安心する。

(3)留守家庭児童指導室は多くの児童が狭い空間にいるため感染を広げないか不安。学校と分担するなどして、一人当たりの空間を広く確保してほしい。

(4)卒業式に保護者が出席できないのは寂しい。せめて、式終了後の「見送り」だけでも参加できないか。

(5)留守家庭児童指導室と学校との連携がうまく取れていないような気がする。登校日の対応など、両者間で相談できているのだろうか。

(6)平日の日中に外で遊んでいる子どもを見かける。どう対応したらよいか、事故や犯罪に巻き込まれたらと思うと、知らない子であっても心配になる。

以上